地元の小学生に学びの場を提供

岩倉・北興経常建設共同企業体

10月11日、道道大岸礼文華停車場線の工事業者、岩倉・北興経常建設共同企業体に町から感謝状が贈られました。

この企業体では、地域貢献活動の一環として9月26日に礼文華小学校、10月7日に大岸小学校児童を対象に現場見学会を行ったほか、各小学校にホワイトボードや掃除機を寄贈しました。

各小学校の校長先生は、見学会では「地元の方が通る道路で工事で何をしているか児童も非常に勉強になった」と話していました。

▲現場見学会の開催やご寄付などありがとうございました。

ふれあいを大切に

第37回ふれあい広場の開催

▲水消火器で消火体験をする参加者

10月1日、中央公民館にて3年振りに第37回ふれあい広場が行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して開催され、こども縁日や地震体験、福祉用品の展示が行われ、会場では参加者が、お互いにふれあいながら過ごす様子が見られました。

地域おこし協力隊の活動日記

文／木村　美朝　隊員

“読者の皆様はココを「イチゴ農家の卵の活動日記」だと思っている”という噂を耳にしました！！＼図書室・社会教育係／の地域おこし協力隊も書かせていただきます、木村です。

図書室には小学生が職業体験に来てくれます。もちろん子どもたちは私のことを生粋の(？)“図書室の人”と疑わず、「何で図書室の人になりたかったんですか？」のような質問を投げかけてくれます。が、実は私は新米の“図書室の人”でした。豊浦に来る前はデンマークにいました。ホストファミリーが警察に連れていかれるなどビックリ案件多数の素敵な日々を過ごしました。デンマークの前は、東京にいました。ヒールでビル街を駆け、たまに芸能人に会い、朝までパソコンと向き合いタクシーで帰る日々でした。今なぜ図書室にいるのか……？人生何があるかわかりません。

そんな私なので右も左もわからずスタートを切りましたが、一年半しっかり向き合った結果、図書室の人として応えられるようになりました。今年は道内の図書館を知る方々が豊浦図書室をピックアップしてくださいました。公共の施設は、使われないと廃れていき、携わる人が幅広いほど良い場所になっていくと感じています。もっと幅広く皆様に活用いただけたら良いなと、年内またいくつか催しを考えていますので、ちらっとでも寄っていただけると嬉しいです。詳しくは回覧板の図書通信やインスタグラムをご覧ください。

▲今年は第二図書室をリニューアル、催しも開催しやすくなりました。普段は“作業・読書・勉強スペース”、ぜひご利用ください！